

令和元年度 文教委員会資料⑥

【所管事務の調査（報告）】

川崎市総合自治会館の整備について

資料1 川崎市総合自治会館の整備について

資料2 総合自治会館レイアウト図及び諸室の機能について

市 民 文 化 局

(令和元年8月22日)

1 事業の経過及び内容

川崎市総合自治会館は、昭和58年10月に全市的な「市民自治活動の拠点」として開館し、公益財団法人川崎市市民自治財団により管理運営が行われてきたが、「施設の老朽化」・「全市的な市民自治活動の拠点としての機能」・「周辺の開発動向」等の状況を総合的に勘案した結果、小杉町3丁目東地区の再開発ビルへ移転し、市民自治活動の振興に必要な機能を発揮するための施設整備を図ることを決定（平成25年1月30日 市民委員会報告）。

平成29年3月には、再開発ビル4階の一部に係る施設建築物及び施設建築敷地の共有持分について、小杉町3丁目東地区市街地再開発組合と「小杉町3丁目東地区第一種市街地再開発事業施設建築物売買契約」を締結。

この売買契約に基づき、再開発ビルの竣工時に低層棟4階を取得するとともに、竣工時期に合わせて内装工事を施工し、完成後に現自治会館を移転する。

(主な経過)

平成24年度：市民委員会報告（平成25年1月30日）

平成25年度：都市計画決定

平成26年度：組合設立（事業計画認可）

平成28年度：権利変換計画認可

平成29年第1回定例会で移転に係る保留床の取得について議決後、組合と売買契約を締結。

組合が再開発ビル新築工事に着工

平成29年度：総合自治会館内装工事実施設計



2 位置図

小杉町3丁目東地区再開発ビルの低層棟4階に「総合自治会館」（約1,500㎡）を整備



3 総合自治会館内装工事の整備スケジュール

- ・会館利用者へのアンケート結果や総合自治会館移転検討委員会での協議を重ね平成29年度に実施設計を行った。
- ・内装工事は、本年7月10日に入札公告済であり、本体工事の完成時期に合わせて完了する。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
内装工事	実施設計		●7/10 入札公告	内装工事 竣工
再開発ビル (本体工事)	本体工事			
現会館	通常の運営			移転

4 内装工事の概要

- ・件名 仮称総合自治会館整備その他工事
- ・履行場所 川崎市中原区小杉町3丁目414番地1 他
- ・履行期間 契約の日から令和2年6月30日まで
- ・工事概要 建築工事一式（ホール、ロビー、エントランスホール、ラウンジ、大・中・小会議室、多目的室他）
電気設備工事一式（電灯設備、動力設備、構内交換設備、映像・音響設備、舞台調光設備、拡声設備他）
機械設備工事一式（冷暖房設備、換気設備、自動制御設備、衛生器具設備、給水設備、排水設備）

5 内装工事に係る執行見込額について

(執行見込額)

- ・内装工事費の予算額に対し、執行見込額が約7千万円上回る見込みとなった。

(経過及びその理由)

- ・令和元年度の当初予算において、直近の高層マンションにおける内装工事の事例である「川崎市コンベンションホール」を参考にし、施設に求められる役割の違いを加味した形で整備費を計上した。
- ・整備にあたって、仕様の見直し等を反映した形で積算を進めてきたものの、移転検討委員会との調整の経過を踏まえる必要があること、現会館の機能を維持して利用者の利便性を確保する必要があることから、当初想定していた整備費を上回る見込みとなった。

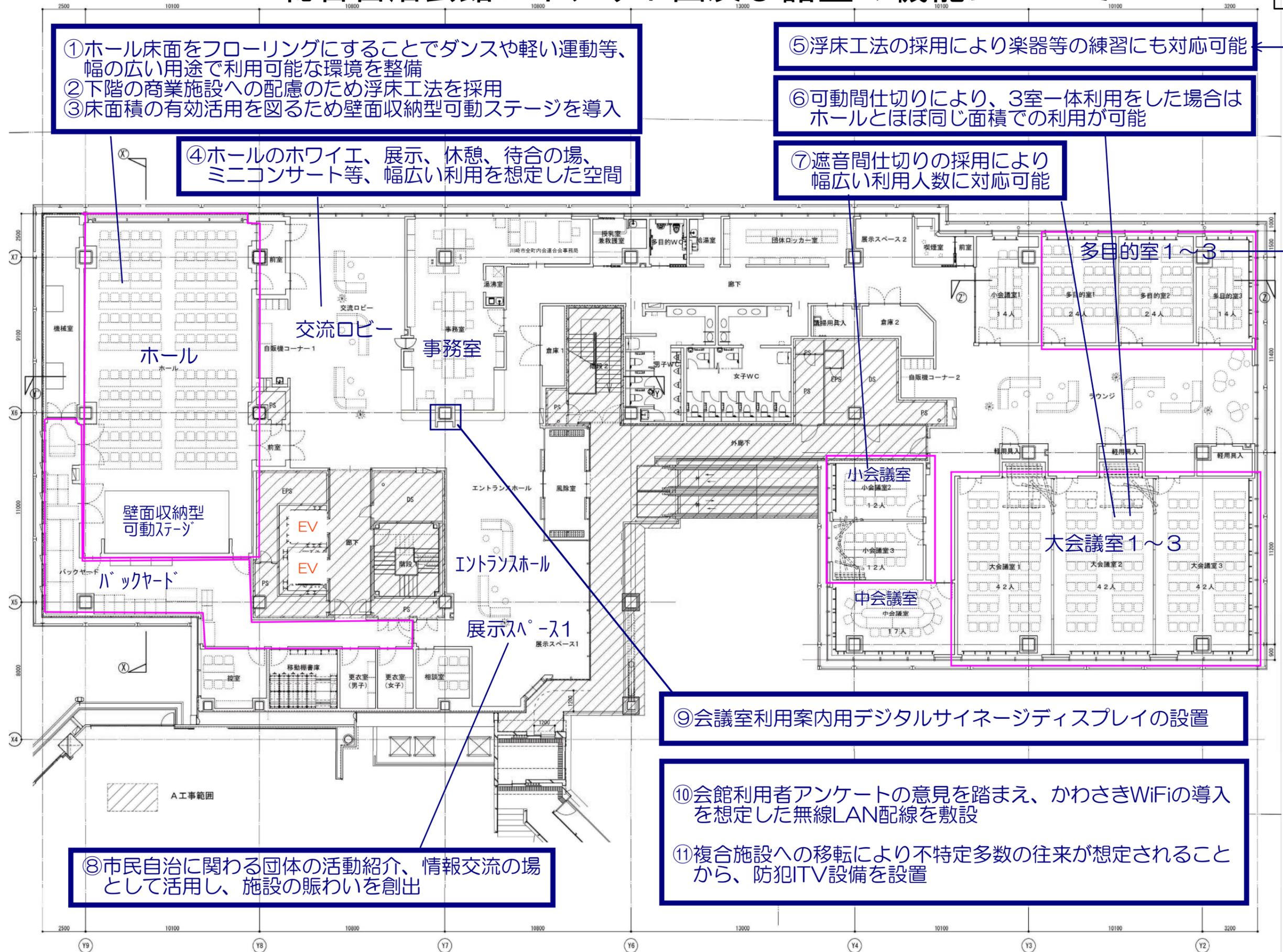
(対応)

- ・今般、令和2年度に執行予定であった敷地取得費（5千5百万円）について、国庫補助金の認承増が確認されたことから、今年度に執行するため、令和元年第4回定例会に補正予算案を提出する。
- ・令和2年度の債務負担行為の限度額は変更せず、当該敷地取得費相当分の債務負担行為額と、令和元年度の他事業における不用額をもって、内装工事費の増分に充てる。

6 今後の予定

- ・令和元年10月に内装工事に着手し、令和2年6月に竣工予定
- ・令和2年7月から移転作業を実施し、同年8月以降の開館を予定
- ・移転後の会館利用料金や開館日程、現会館の閉館日など、詳細が決まり次第あらためて報告

総合自治会館レイアウト図及び諸室の機能について



①ホール床面をフローリングにすることでダンスや軽い運動等、幅の広い用途で利用可能な環境を整備
 ②下階の商業施設への配慮のため浮床工法を採用
 ③床面積の有効活用を図るため壁面収納型可動ステージを導入

④ホールのホワイエ、展示、休憩、待合の場、ミニコンサート等、幅広い利用を想定した空間

⑤浮床工法の採用により楽器等の練習にも対応可能

⑥可動間仕切りにより、3室一体利用をした場合はホールとほぼ同じ面積での利用が可能

⑦遮音間仕切りの採用により幅広い利用人数に対応可能

多目的室1~3

小会議室
 小会議室2
 1-2人
 小会議室3
 1-2人
 中会議室
 中会議室
 3-7人

大会議室1~3
 大会議室1
 2人
 大会議室2
 4人
 大会議室3
 4人

壁面収納型可動ステージ
 バックヤード

⑧市民自治に関わる団体の活動紹介、情報交流の場として活用し、施設の賑わいを創出

⑨会議室利用案内用デジタルサイネージディスプレイの設置

⑩会館利用者アンケートの意見を踏まえ、かわさきWiFiの導入を想定した無線LAN配線を敷設
 ⑪複合施設への移転により不特定多数の往来が想定されることから、防犯TV設備を設置

※机、椅子、家具等の配置はイメージです。
 ※室名等は全て仮称です。